

授業科目 装具学特論実習

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	義肢
坂井 一 浩 他		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	60
【概要・一般目標：GIO】 装具に関する理解を深め、さらに適合技術を高めるために、与えられた症例に対する検討と考察、および製作適合工程から重要事項を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 装具学に関する知識を統合できる。 2. 材料加工に関する知識と技術を統合できる。 3. 対象者に対し専門家としての態度がとれる。 4. 製作した装具の効果について客観的かつ多角的に評価できる。 5. 問題を客観的に捉え、これを解決することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	対象者に適当な評価法			1～5	担当教員との検討と実習
2	装具バイオメカニクスの検討とデザインへの反映			〃	〃
3	装具効果の予想			〃	〃
4	具体的な臨床工程ストラテジー			〃	〃
5	適合評価プロトコール			〃	〃
6	問題解決			〃	〃
7	症例プレゼンテーション			〃	ディスカッション
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
義肢装具士として求められる重要項目について、評価表をもとに判断する。筆記試験は行わない。		履修登録者数を制限することがある。この場合、本科目は装具学のアドバンスドコースであるため、関連科目の過去の成績についても考慮する。			